

凸版印刷、SDGs 支援専門チーム「TOPPAN SDGs Unit」を編成

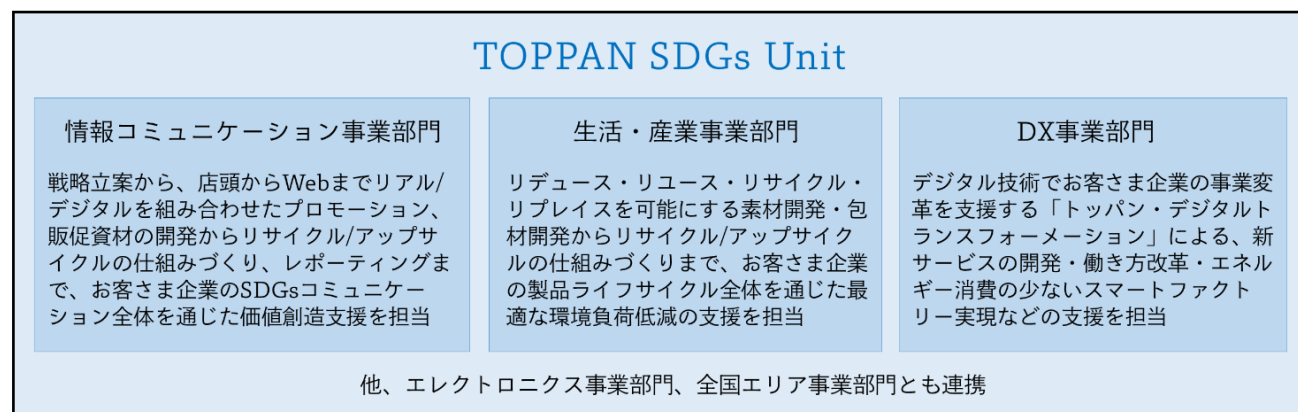
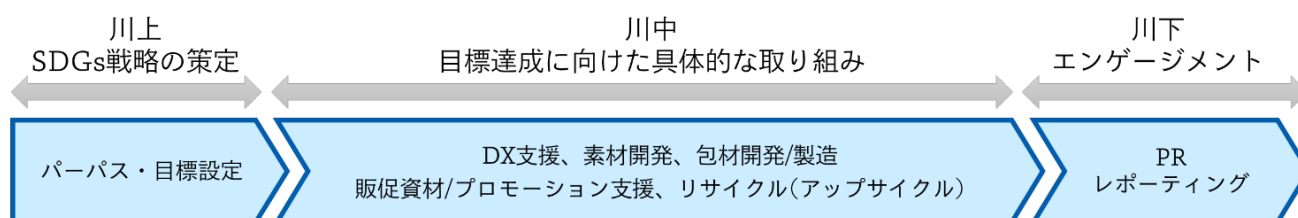
事業部門横断による機能編成で
SDGs バリューチェーン全体を川上から川下までワンストップで支援

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、2019年11月に策定した「TOPPAN SDGs STATEMENT」においてSDGs(Sustainable Development Goals)の経営への統合と取り組み強化を宣言。さらに2020年11月には「TOPPAN Business Action for SDGs」を策定。事業でSDGs達成への貢献を目指して取り組む「事業活動マテリアリティ」において特に注力すべき分野を特定し、ビジネスによるSDGs貢献を加速させています。

このたび凸版印刷は、事業におけるSDGs貢献の一環として、お客さま企業のSDGsバリューチェーン全体を川上から川下までワンストップで支援する事業部門横断SDGs支援専門チーム「TOPPAN SDGs Unit」(以下 本ユニット)を編成し、本日2021年2月8日より活動を開始します。

今後は本ユニットの編成を全国の事業部門まで拡大し、順次サービス提供を実施していきます。

■ 「TOPPAN SDGs Unit」が支援するSDGsバリューチェーンと事業部門の役割



■ 本ユニット編成の背景

昨今、社会の持続可能性に対する企業の貢献を期待する声は高まり続けており、多くの企業がSDGsへの取り組みを開始しています。しかし取り組む企業からは、SDGsに取り組む戦略策定から取り組み進捗・結果の情報発信までのSDGsバリューチェーン全体を設計することが難しい、設定した目標の達成に向けた多様なアプローチの中で最適な選択が分からない、といった課題も出ています。

凸版印刷はこれまでもお客さま企業と一緒にSDGsに取り組んできましたが、これらの課題に対応するためSDGsへの取り組み支援をワンストップで行える本ユニットを編成しました。本ユニット編成により、SDGsバリューチェーン全体の設計から効果的な施策実行まで、スピーディな支援が可能になりました。

■ 本ユニットによる SDGs 支援の特長

多岐にわたる SDGs 活動のバリューチェーンに対して、川上から川下までワンストップで支援が可能です。

・お客さま企業の特徴に合わせた SDGs 戦略の策定(川上支援)

企業による SDGs 達成への貢献において、マテリアリティ(重要課題)の選定による企業それぞれの特長を生かした取り組みが求められています。凸版印刷は、企業の経営理念やビジョン、事業形態に合わせた SDGs 戦略ロードマップを策定し、その企業ならではの独自性のある取り組みによる SDGs 達成への貢献の最大化を支援します。

・「ものづくり×DX」により課題に対しての最適なアプローチを支援(川中支援)

多様な社会的課題の解決に向けた取り組みを進めていくには、一つの手段ではなく、多様なアプローチを検討していくことが重要になります。凸版印刷の SDGs 支援は自社の幅広いリソースを活用し、リアルなものづくり支援から「トッパン・デジタルトランスフォーメーション」による効率的なサプライチェーン構築まで、多様な選択肢から最適な提案・支援を行います。

例えば「サーキュラーエコノミーの実現」支援においては、リサイクル適正の高い新素材・代替素材・パッケージの開発だけでなく、DX 支援による無駄を最小限に抑えた効率的なサプライチェーン構築やリサイクルシステムの開発など、多様な選択肢の中から最適な手段をお客さま企業と検討しながら組み立てていきます。

・ステークホルダーとのエンゲージメントを強化するコミュニケーション支援(川下支援)

SDGs の取り組みを継続・強化していくためには、取り組みの進捗・結果を分かりやすく情報発信し、ステークホルダーからフィードバックをもらうといったエンゲージメント活動が重要です。凸版印刷は、統合報告書やサステナビリティレポートなどの情報発信やステークホルダーとのコミュニケーションなど、お客さま企業に最適なエンゲージメント手法の設計・支援をします。

凸版印刷は今後、本ユニットを中心としてお客さま企業と共に SDGs に取り組み、トッパンが目指す姿「ふれあい豊かでサステナブルな暮らし」の実現に向けたチャレンジを進めていきます。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上